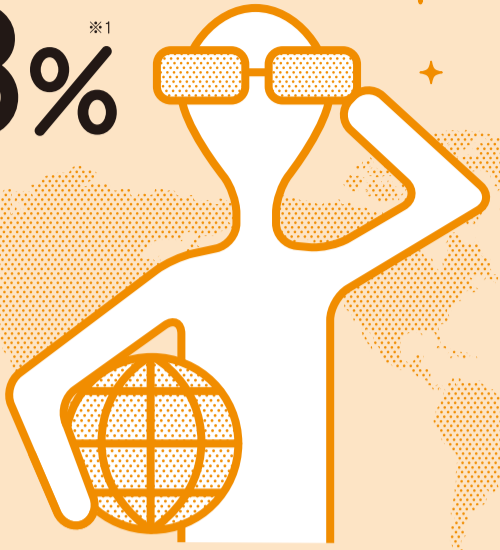


国際的な視野を
身につけたい入学生

73%^{※1}



学生の要望に
授業や学生支援で応えよう

授業として開講される
外国語科目の種類

6言語^{※2}



英語の他に
独・仏・中・朝・比語が選択できる

学内で開催される
国際交流行事



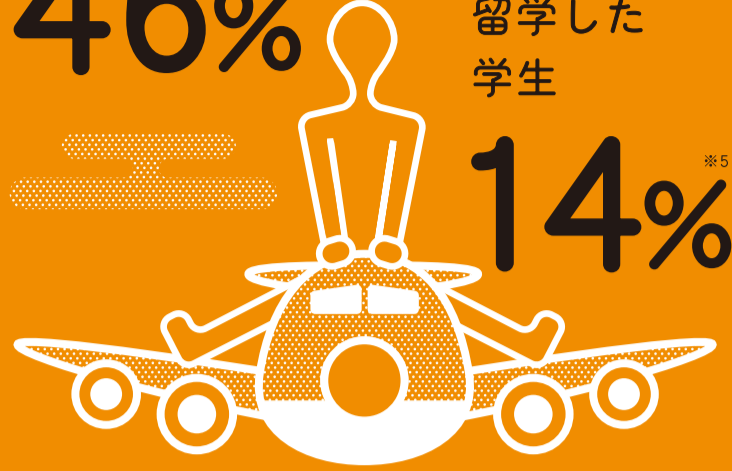
キャンパス内でも国際交流の
機会は提供されている

留学したいと思っている
入学生

46%^{※1}

在学中に
留学した
学生

14%^{※5}



留学したいという気持ちを
形にしてあげよう

外国人留学生の数

308人^{※4}



多様な文化的背景を尊重して
学生間の交流を促そう

留学する学生の
比率が高い学部

社会
共創学部 22%^{※6}
教育学部 14%^{※6}
法文学部 10%^{※6}



学部独自の国際プログラムは
学生の背中を押している

データから

考える VOL.03

愛大授業改善

交換留学が可能な
国際交流協定締結大学



61機関^{※7}
留学先として学生に
推薦できる大学は多い

2010年度と比較した
留学した学生

3.5倍^{※8}



2010年度

2016年度

「最近の若者は内向き化している」は
愛大生にはあてはまらない

「学生中心の大学」「世界とつながる大学」を
標榜する愛媛大学は、第3期中期目標期間に
おいて海外からの留学生数と日本人学生の海外
派遣者数の増加に向けて取り組んでいます。
大学の国際化の現状を理解して、授業や学生
支援の充実につなげていきませんか。

中四国の中でのグローバル
部門の大学ランキング

18位/59大学^{※9}



世間に過小評価されないように
情報発信しよう

コミュニケーション能力の習得度

留学した学生

88%^{※5}

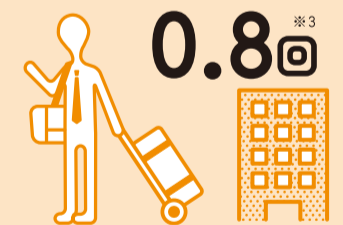
留学しなかった学生

79%^{※5}



留学経験がコミュニケーション能力を
高めているのか、コミュニケーション能力の
高い学生が留学しているのか

教員1人あたりの
年間海外出張



0.8回^{※3}

自分自身の国際経験を
学生に伝えよう

入学時の留学希望先



1位 アメリカ合衆国^{※1}
2位 オーストラリア
3位 カナダ

実際の留学先



1位 台湾^{※3}
2位 アメリカ合衆国
2位 インドネシア

英語圏以外の国への留学の意義を学生に理解させよう

過去5年間に海外出張した
職員の数



125人^{※10}

教員と学生とともに職員も
国際性を高めよう

愛大学生コンピテンシー <https://www.ehime-u.ac.jp/overview/competency/>

愛媛大学教育企画室教学IR <https://web.opar.ehime-u.ac.jp/about/ir/>

※1 「平成29年度愛媛大学新入生アンケート調査報告書」(学内公開データ) ※2 共通教育科目・初修外国語(2017年度) ※3 国際連携提供データ(2016年度) ※4 国際連携提供データ(2017年5月1日時点)
※5 「平成28年度愛媛大学卒業予定者アンケート調査報告書」(学内公開データ) ※6 2016年度に留学した学生の割合。留学には90日未満の短期留学も含む ※7 国際連携提供データ(2017年度) ※8 国際連携提供データ(2010年度、2016年度)
※9 大学ブランド・イメージ調査2017-2018(中国・四国編)日経BPコンサルティング(2017年11月) ※10 国際連携提供データ(2013~2017年度)